

令和6年度 第1回健康づくり推進部会〔地域・職域連携推進協議会〕報告

【委員構成】

- 職域保健関係機関5名(須崎労働基準監督署、全国健康保険協会高知支部、須崎地域産業保健センター 須崎商工会議所、土佐くらしお農業協同組合)
- 保健医療関係団体4名(高岡郡医師会、高知県薬剤師会高陵支部、くぼかわ病院、高知県歯科衛生士会西部支部)
- 住民代表2名(管内健康づくり婦人会連合会長、NPO 法人くぼかわスポーツクラブ会長)
- 地域保健関係機関5市町(須崎市、中土佐町、梶原町、津野町、四万十町)

■各委員からの報告（課題・今後の取組等）

健康寿命の延伸に向けた意識醸成と行動変容の促進	生活習慣病予防に向けたアプローチの強化 ポピュレーション	職域保健	<ul style="list-style-type: none"> ・定期健診の有所見率は、須崎労働基準監督署管内は、全国・高知県より高い。有所見率の項目で見ると、血中脂質、血圧、血糖の順に高い。(肝機能、血糖は令和4年度と比較し増加) ・被扶養者の特定健診受診率や被保険者の特定保健指導の実施率が低い。 ・健診で異常なしの職員は数名。健診受診で終わらないよう、医療機関の受診勧奨をすることが大切。
		保健医療	<ul style="list-style-type: none"> ・薬局で、2ヶ月に1回栄養士による栄養指導を実施。 ・貧困が健康に及ぼす影響は大きい。お酒も貧困と関係していて、お酒しか楽しみがない人もいる。そういう人は、「1合に減らしましょう」では止まらなくなるので、1滴も飲まない日を週1回つくるところから始めましょうと指導を実施。
		住民	<ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい食生活や生活習慣が重要となるので、地域の関係団体と協力し、様々な事業に積極的に参加してもらえよう働きかけをしている。
		地域保健	<ul style="list-style-type: none"> ・飲酒の頻度が多かったり、多量飲酒の人がいることが課題。町内の1事業所で飲酒をテーマに研修会を開催。好評だったので11月頃、町民向けに適正飲酒についての研修会を企画予定。
	血管病重症化予防対策の推進	職域保健	<ul style="list-style-type: none"> ・治療が必要な者に対して、医療機関で健診を受けた当日に医療機関の受診を勧めている。 ・家庭血圧の測定指導を実施している。
		保健医療	<ul style="list-style-type: none"> ・通院患者の定期的な検査に特定健診を組み込んでいる。 ・保健指導対象者のほとんどが、中・高度の肥満者であり、減酒、減塩、カロリーバランスについて助言。 ・血圧管理や栄養、運動療法の必要性を理解してもらうための血圧手帳の記入への支援や栄養指導日の案内をしている。 ・糖尿病重症化予防として、医療機関と町との定例連絡会の開催。 ・高齢者が見やすいように大きめの血圧記録用紙を作成し配布。40・50歳代は家庭に血圧計がなく記録を拒否される方が多い。また、症状がないため受診しない人も多い。 ・血圧手帳を確認して血圧が下がってきた人は医師に報告し、薬の調整をしてもらっている。薬が減ることで医療費も減るため、それが行動変容につながっている人もいる。
		住民	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診、がん検診の受診率向上に効果的な地域の婦人会員による声かけに取り組んでいる。
		地域保健	<ul style="list-style-type: none"> ・ハガキでの受診勧奨内容の変更を検討中。「これまで受診歴のない人」、「ここ3年ほど受診歴がない人」、「前年度受診歴のある人」に3分類し、ハガキの文面を変えようと考えている。(過去に受診歴がない人には、「2人に1人ががんになる」など少しドキッとするような内容にする等)。ハガキ1枚にポイントとなる内容を収め、読みやすさを工夫をする。 ・市町ごとに健診受診にインセンティブを取り入れている。(町内で使用できるマイレージに交換、ポイントがもらえて景品に応募など) ・働いている世代は、平日の健診受診や保健指導が難しい。そこで、今年度から保健指導について土曜日にも行うようにした。 ・減塩についての認識が低い。

令和6年度健康づくり推進部会の活動計画

■ 健康づくり推進部会〔地域・職域連携推進協議会〕（年2回開催）

日本一の健康長寿県構想（第5期）及びよさこい健康プラン21（第5期）における県目標である「健康寿命の延伸に向けた意識醸成と行動変容の促進」を目指し、部会内で活動内容の共有・検討を行い、協働して推進する

第1回 (7月24日)	・ 令和6年度の活動計画について ・ 壮年期の健康づくりへのアプローチ方法について
第2回 (1月)	・ 令和6年度の活動報告について ・ 令和7年度の取組について

■ 活動計画

1 生活習慣病予防に向けたポピュレーションアプローチの強化

(1) 生活習慣病予防の行動変容につながる取組の促進

- ・ 高知家健康チャレンジ、高知家健康パスポート等を活用した周知啓発の強化
- ・ 地域のケーブルテレビを活用した啓発

(2) 地域と職域が連携した健康づくりの取組

- ・ 職域関係者等の事業連携について検討及び実践
- ・ 健康づくりに関心の低い者に対して生活習慣改善に向けた行動変容を促す取組の促進
- ・ 市町の健康づくり事業の職域における活用・展開を促進
- ・ 関係団体主催の会議で健康経営を推進するための情報提供を実施

(3) 事業所での主体的な健康づくり（健康経営）の取組

- ・ 健康管理担当者サポート事業を活用した健康経営の取組促進
- ・ 未介入の職業団体や小規模事業所に対し、健康経営を周知
- ・ 管内で積極的に健康づくりに取り組む事業所の取組事例を掲載したリーフレットを作成啓発
- ・ 事業所の経営者及び健康管理担当者を対象にアルコールをテーマとした研修会を開催

2 血管病重症化予防対策の推進

(1) 特定健診受診率・特定保健指導実施率の向上対策の取組

- ・ 特定健診対象前世代や受診率の低い40～50歳代への受診勧奨の強化

(2) 高知県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づく取組

- ・ 重症化リスクの高い者への対応に向けた地域と医療の連携強化

(3) 循環器病対策（高血圧・たばこ対策）の取組

- ・ 減塩や血圧管理に関する啓発チラシ等を活用した取組の推進
- ・ 受動喫煙防止の周知と禁煙サポートの体制づくりの推進
- ・ 壮年期の循環器病対策が、周知にとどまらず、行動変容（減塩・禁煙等）につながるような保健指導の充実